College report

東京聖栄大学報

vol.17
2017.10

70th Anniversary

● CONTENTS ●

理事長祝辞／学園70年の主な歩み（沿革） …… 2・3
学園創立70周年・附属わたなべ幼稚園開園40周年記念式典／祝賀会 … 4・5
新学長挨拶／大学トピックス／卒業式・入学式…… 6・7
研究関連…… 8・9
管理栄養学科・食品学科の活動…… 10・11
学生支援センターの活動／地域共創・食育イベント／就職 … 12・13
学友会／後援会・聖栄会／人事…… 14・15
平成28年度決算報告／教育研究施設設備充実募金… 16・17・18
大学附属わたなべ幼稚園／大学附属調理師専門学校…… 19
大学トピックス／学生募集要項…… 20

理事長祝辞

理事長
福澤　美喜男

学校法人東京聖栄大学　創立70周年記念式典式辞
（附属わたなべ幼稚園開園40周年）

学園創立記念日の今日、ご来賓各位のご臨席を仰ぎ、学校法人東京聖栄大学創立70周年記念式典並びに附属わたなべ幼稚園開園40周年記念式典を挙げますことは学園関係者の大きな慶びであります。

本学園は、昭和22年に創立者の渡邉正助・富久子両先生がオリムピア洋裁学院を開設したのが始まりであり、学園創立60周年に当る平成19年に法人名を学校法人東京聖栄大学に改称し、今日に至っております。

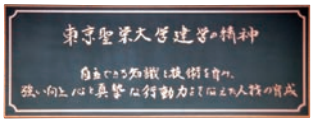
東京聖栄大学のルーツは昭和29年開校した聖徳高等栄養学校であります。その後、校名を聖徳栄養専門学校に変更し、さらに職業教育に加えて豊かな人間性を育む教養教育にも力を入れるため、同校を母体として昭和38年には聖徳栄養短期大学に発展いたしました。しかし、平成10年に管理栄養士制度が確立されたことにより、管理栄養士の養成を行うために、４年制大学設置の検討を重ねてまいりましたが、様々な諸問題があり、大学の設置が遅れました。しかし、平成15年１月に大学設置基準が緩和されたことにより道が開け、平成17年４月に東京聖栄大学を開学し、本年で13年目を迎えております。

本学園はこれからも「食と栄養の分野」を基軸にした特色ある教育を行い、常に教育の質の向上に努めてまいります。大学並びに大学附属の調理師専門学校、本年で開園40周年を迎えた附属わたなべ幼稚園の三校が一体となり、教職員一同日々研鑽を重ね、その成果を教育の発展に資することをお誓いして式辞といたします。

学園70年の主な歩み（沿革）

昭和22年（1947）	４月	旧下小松町（現新小岩）にオリムピア洋裁学院を開校。（昭和23年４月東京都知事より認可）
昭和23年（1948）	10月	文部大臣より財団法人として認可され、昭和26年３月に東京都知事より学校法人への組織変更が認可。
昭和29年（1954）	４月	聖徳高等栄養学校を設立、同時に厚生大臣より栄養士養成施設として指定。
昭和32年（1957）	８月	オリムピア洋裁学院を「聖徳服飾専門学校」に、聖徳高等栄養学校を「聖徳栄養専門学校」に改称。
	10月	学園創立10周年記念式典挙行。
昭和35年（1960）	４月	聖徳栄養専門学校に調理師科を付設し、調理師養成施設として厚生大臣より指定。
昭和37年（1962）	５月	学園創立15周年記念式典挙行。
昭和38年（1963）	４月	文部大臣の認可を受け聖徳栄養専門学校を短期大学に昇格し、聖徳栄養短期大学を開設。同時に厚生大臣より栄養士養成施設として指定。
昭和39年（1964）	４月	聖徳栄養専門学校の短期大学昇格に伴い同校栄養本科を３月に廃止、同校調理師科を「聖徳調理師学校」として再発足。
昭和41年（1966）	６月	１号館短期大学本校舎落成。
昭和42年（1967）	４月	２号館（現専門学校校舎）落成。
昭和47年（1972）	８月	３号館落成。
	10月	学園創立25周年記念式典挙行。
昭和49年（1974）	１月	創設者渡邉正助理事長逝去、従五位に叙位。渡邉富久子氏理事長に就任。
昭和51年（1976）	３月	短期大学船橋運動場整備、船橋校舎完成。
昭和52年（1977）	４月	洋裁学校及び調理師学校は、専修学校制度が発足したのに伴い東京都知事より専修学校として切替認可を受け、「聖徳服装専門学校」「聖徳調理師専門学校」と改称。
	４月	千葉県知事の認可を受け、千葉県鎌ヶ谷市に聖徳栄養短期大学附属わたなべ幼稚園を開園。
	10月	学園創立30周年記念式典挙行。
昭和55年（1980）	２月	１号館第Ⅰ期棟改築工事竣工。

昭和57年(1982)	3月	１号館第Ⅱ期棟改築工事竣工。
昭和60年(1985)	1月	図書館棟落成。
昭和61年(1986)	4月	文部大臣より短期大学食物栄養学科第１部専攻課程設置の認可を受け、食物栄養専攻と食品科学専攻を開設。
昭和62年(1987)	8月	４号館落成。
	10月	学園創立40周年記念式典挙行。
平成元年(1989)	4月	給食管理実習棟竣工。
平成４年(1992)	1月	聖徳服装専門学校を廃止。
平成７年(1995)	4月	厚生大臣より調理師養成施設内容変更の承認を受け、聖徳調理師専門学校調理師専門課程に２年課程の専門調理技術科を開設。
平成８年(1996)	4月	文部大臣の認可を受け、短期大学専攻科食物栄養専攻を開設。同専攻学位授与機構認定、厚生大臣より栄養士養成施設として指定。
	12月	文部大臣より調理師専門学校調理師専門課程専門調理技術科卒業者に専門士の称号授与の課程認定。
平成９年(1997)	9月	５号館及び体育館兼講堂(わたなべ記念館)落成。
	10月	学園創立50周年記念式典挙行。
平成12年(2000)	4月	理事長渡邉富久子氏学園長に就任、専門学校校長、幼稚園園長を兼任。福澤美喜男氏短期大学学長に就任。
平成13年(2001)	4月	学園長渡邉富久子氏逝去、従五位に叙位。川口力氏理事長に就任、平澤正男氏専門学校校長に就任、戸塚淳子氏幼稚園園長に就任。
	10月	１号館更衣室棟落成。
平成14年(2002)	10月	１月より随時開始された(１号館多目的ホール、４号館製菓・製パン実習室、別館、各号館校舎サイン工事)各種改修工事など完了。
平成15年(2003)	4月	短期大学食物栄養学科食品科学専攻製菓・製パンコース開設。厚生労働大臣より製菓衛生師養成施設として指定。
	5月	短期大学及び専門学校公開講座葛飾区教育委員会と共催で実施。(17年４月より大学及び専門学校と共催実施)
	7月	１号館新館落成。 理事長川口力氏逝去、福澤美喜男氏理事長代行に就任、短期大学学長を兼任。
	8月	１号館Ⅱ期棟東側外部改修工事及び正門・外溝改修工事完了。
	11月	福澤美喜男氏理事長に就任、短期大学学長を兼任。
平成16年(2004)	3月	短期大学学生寮(あおい寮)を閉寮。
	4月	大学設置認可申請書を文部科学省へ提出。
	9月	１号館：研究室、外壁、Ⅰ期棟４階内廊下改修工事、 ４号館：研究室改修工事、 図書館棟：研究室、情報処理実習室、 栄養教育実習室改修工事完了。
	10月	大学校旗校歌及びロゴマークを制定。
	11月	文部科学大臣より東京聖栄大学健康栄養学部管理栄養学科、同学部食品学科の設置認可。
平成17年(2005)	2月	厚生労働大臣より東京聖栄大学健康栄養学部食品学科を食品衛生管理者養成施設及び食品衛生監視員養成施設として指定。
	3月	厚生労働大臣より東京聖栄大学健康栄養学部管理栄養学科を管理栄養士養成施設として指定。
	4月	東京聖栄大学開学。 福澤美喜男氏大学学長に就任、理事長・短期大学学長を兼任、舛重正一氏学部長に就任。 大学設置に伴い「東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園」に改称。萩原和代氏幼稚園園長に就任。
	11月	大学「ロゴマーク」を商標登録。
平成18年(2006)	1月	６号館研究講義棟落成。
	4月	厚生施設棟落成。
	9月	文部科学大臣より聖徳栄養短期大学廃止認可。
	11月	厚生労働大臣より聖徳栄養短期大学製菓衛生師指定養成施設廃止承認。
平成19年(2007)	1月	平成19年６月１日を期して法人名を「学校法人東京聖栄大学」に変更のため認可申請書を文部科学省に提出。
	5月	学園創立60周年記念式典挙行。
	6月	学校法人オリムピア学園を学校法人東京聖栄大学と改称。
平成21年(2009)	4月	食品学科にフードサイエンスコース、フードビジネスコースを設置。
平成22年(2010)	5月	新奨学金制度開始。
平成23年(2011)	1月	建学の精神制定。
平成24年(2012)	3月	韓国専門大学視察団来校 (駐日大韓民国大使館依頼)。 日本高等教育評価機構大学機関別認証 評価結果「大学基準を満たす」認定。 (期間平成23年４月～平成30年３月)。
平成25年(2013)	4月	松本信二氏大学学長に就任。 聖徳調理師専門学校を「東京聖栄大学附属調理師専門学校」に改称。
	5月	日本食育学会第１回総会、第７回学術大会を本学にて開催。
	9月	７号館研究講義棟竣工。
平成26年(2014)	4月	管理栄養学科に教職課程を設置　栄養教諭一種免許状。
	7月	４号館：教職課程センター、教職実践演習室、講義室、共通教育センター、研究室改修工事完了。
	12月	幼稚園給食室増設工事及び施設設備工事完了。
平成27年(2015)	4月	阿左美章治氏専門学校校長に就任。
	6月	大学開学10周年記念式典挙行。(記念式典、記念講演、祝賀会) 記念講演：「食と健康のこれから」 演者：公益社団法人生命科学振興会　理事長　渡邊 昌氏
	11月	福澤美喜男理事長が秋の叙勲で旭日中綬章受章。
平成29年(2017)	3月	１号館講堂改修工事完了。
	4月	田所忠弘氏大学学長に就任。
	5月	学園創立70周年記念式典挙行。



学園創立70周年及び附属わたなべ幼稚園開園40周年記念式典を挙行

学校法人東京聖栄大学は、平成29年５月31日、学園創立70周年及び附属わたなべ幼稚園開園40周年を記念して式典を挙行しました。

昭和22年に開校した「オリムピア洋裁学院」を発祥とし、栄養士養成施設として厚生大臣から昭和29年に「聖徳栄養高等学校」名で指定を受けました。更にその後、昭和38年には「聖徳栄養短期大学」に発展、この短期大学をベースに高い技術と専門性を目指す４年制大学として平成17年に「東京聖栄大学」を開学し、学園として創立70周年を迎えることができました。また、附属わたなべ幼稚園は、昭和52年に開園し、開園から40周年を迎えることができました。

特別功労者表彰

感謝状贈呈

永年勤続表彰

学校法人東京聖栄大学創立70周年記念式典表彰者及び附属わたなべ幼稚園開園40周年表彰者

Ⅰ　特別功労者表彰　顧問　小林　壯一
　　監事　飯島　満信

Ⅱ　永年勤続表彰者

1．50年以上勤続（１名）
　56年　福澤　美喜男（理事長）

2．40年以上勤続（４名）
　47年　阿左美　章治（大学）
　44年　荒木　裕子（大学）
　44年　筒井　知己（大学）
　40年　内堀　惠子（職員）

3．30年以上勤続（７名）
　35年　大塚　静子（大学）
　35年　野口　栄（専門学校）
　33年　星野　浩子（大学）
　33年　鈴木　和男（職員）
　32年　山本　直子（大学）
　32年　田村　勲（職員）
　31年　丸井　正樹（大学）

4．20年以上勤続（８名）
　29年　故橋場　直彦（大学）
　27年　稲葉　永治（専門学校）
　26年　矢野　求美子（職員）
　24年　岡田　修一（職員）
　24年　赤堀　五百重（職員）
　24年　金子　俊也（職員）
　23年　萩原　和代（幼稚園）
　21年　橋場　浩子（大学）

Ⅲ　感謝状贈呈者

1．内堀　惠子　評議員（40年以上）
2．立原　とく　評議員（20年以上）
3．酒井　秀嗣　大学非常勤講師（20年以上）
4．中冨　貴仁　大学非常勤講師（20年以上）
5．伏見　幸子　大学非常勤講師（20年以上）
6．谷川　一夫　専門学校非常勤講師（20年以上）

【わたなべ幼稚園開園40周年　感謝状贈呈者】

7．新谷　真智子　幼稚園臨時職員（20年以上）
8．古河　武善　幼稚園臨時職員（地域との連携に尽力）

※名簿は勤続年数順
※勤続年数は平成29年５月１日現在

学園創立70周年記念祝賀会

祝賀会は、東武ホテルレバント東京にて開催され、約200人が参加し、日本私立大学協会から大沼淳会長の代理として福井直敬副会長、青木克徳葛飾区長、清水聖士鎌ヶ谷市長らがそれぞれ「学園創立70周年という大きな節目の年を迎えた同学園の、今後の更なる発展を期待したい」などとご祝辞を頂きました。

理事長挨拶

校旗・園旗

日本私立大学協会　福井直敬副会長

事務局長挨拶

新学長挨拶

学長
田所　忠弘

今日まで、人の食の歴史やその伝統は確実に受け継がれてきています。東京聖栄大学が、人の育成100年の計を目指した学園創立70周年記念ならびに附属わたなべ幼稚園開園40周年記念式典を挙行されたこと誠におめでとうございます。新たに第三代目の学長として大学の発展のために教職員一丸となった船出をさせていただきました。

後発の大学として設立13年目の浅い歴史ながらも中途退学率の低さ、就職率のよさ、さらには管理栄養士国家試験合格率などからも食の専門大学として他大学に引けを取らず、むしろ大いに誇れる大学として教職員が日々学生のために積極的に行動し、合わせて地域への貢献努力もすばらしいことから社会より高い評価を得られるに至っております。大学の体制も新学部長に丸井正樹教授をお迎えし、管理栄養学科長には鈴木三枝教授、食品学科長には荒木裕子教授を配し、充実した両学科教員のもと多彩なベテランと若い教員の登用も含め、食の専門性を誇る大学に相応しい形に成長してきております。

食の大切さは言うまでもありませんが、これまでの食の在り方からより科学性の反映された食への進化が加速する一方、長寿と健康を包含した人間らしい在り方や人生も食を巡り様々な論議が行われております。人の歴史と伝統の持続的存続は、食をおろそかにしない原点、つまり食品・食物そして栄養・人の感性のバランス追究にこそ食の真髄が横たわっているものと考え、なお一層の食の専門化教育に力を注ぎたいと思います。

大学トピックス

学友会役員が「平成28年度 葛飾協働まちづくり表彰」を受賞しました

平成29年３月30日（木）に「平成28年度 葛飾協働まちづくり表彰」を本学学友会役員が、地域での様々なボランティア活動や株式会社ぐるなび主催の学園祭グランプリ2016での部門賞の入賞などが功績顕著と認められ、青木克徳葛飾区長から全30団体のトップで表彰を受けました。

平成29年度 春の交通功労者等表彰式にて感謝状を頂きました

平成29年６月５日（月）に「平成29年度春の交通功労者等表彰式」が葛飾警察署にて行われました。表彰式は交通安全活動に関する評価をいただいた全38団体が表彰され、本学から学友会代表学生２名が参加しました。地域での様々な交通安全活動を積極的に取り組み、交通安全の重要性をよく認識された事が評価され、葛飾警察署長、葛飾交通安全協会長より連名の感謝状を頂きました。

卒業式・入学式

平成28年度　卒業式

平成28年度卒業式が、去る平成29年３月15日（水）本学わたなべ記念館において行われました。

新しい門出を迎えたのは、健康栄養学部管理栄養学科79名、食品学科84名の163名です。

式は学位記授与で始まり、表彰は学長賞（最優秀賞）の受賞１名、優秀賞は５名が受賞しました。他に全国栄養士養成施設協会理事長賞、日本フードスペシャリスト協会会長賞、食品科学教育協議会会長賞の受賞も行われました。

続いて松本信二学長の式辞では、「希望に胸を膨らませながら入学し、はや４年の歳月が過ぎました。諸君にとって稔りの多い有意義な、且つ楽しい学生生活であったことでしょう。卒業式というのは一つの節目ではありますが、決して終着点ではありません。社会人として旅立つスタートラインの日と心得、実社会では多くの場合正解の無い課題に取り組まなければならず、これからが本当の勉強が始まるものと心得てください。」と社会に出るにあたり、心構えについて語られました。

このことは、本学の学生生活の指針となる校訓でもある「熱意・誠意・創意」の三意に通ずることであると述べられました。

結びに、最も大切なことは健康を維持することです。どんなに良い仕事をしても健康を害してはなにもなりません。皆さんは「健康栄養学部」で学んだプロであることを自覚し、適切な自己管理に留意し健康な日々を送ってくださいと結ばれました。

平成29年度　入学式

平成29年４月１日（土）平成29年度入学式が本学わたなべ記念館において行われました。

今年度は、健康栄養学部管理栄養学科84名、食品学科77名の新入生が式に臨みました。

開式の辞に続き田所忠弘学長の式辞では、本学の沿革と建学の精神について触れ、この精神を踏まえ食と健康に関する教育に力を注ぎ、社会に役立つ実学に沿った教育を実践していることや、学生生活の指針となる校訓の「熱意・誠意・創意」の三意について次のように述べられました。「何事にも意欲的に、積極的に取り組み、思いやりの心を忘れず、身につけた知識と技術・技能を生かし、既存の事柄に拘らず、新しい何かを作り出すことへのチャレンジする態度である」とされました。

また、健康栄養学部として両学科に共通していることは、基本が「食」にあり、その教育目標は「食」を通して日本のみならず広く世界の健康維持に資する人材の育成にあると述べられました。

最後に、本学で学ぶ４年間が悔いのない有意義で楽しい４年間の学芸の修得を保護者の皆様とともに分かち合い、過ごされますことを願っていると結ばれました。

研究関連

科研費
KAKENHI

科学研究費とは、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、文部科学省及び日本学術振興会が取り扱っています。

○東アジア調査に基づくベーチェット病、強皮症の特異的HLAが病態に関わる機序の研究
基盤研究（B）（海外学術調査）　研究代表者：竹内　二士夫教授

シルクロード病とも言われているベーチェット病は日本やトルコに多い原因不明の炎症疾患です。また、強皮症は皮膚の硬化や特異的な自己抗体を特徴とする代表的な自己免疫性疾患です。二つの疾患にはHLA（組織適合抗原）と呼ばれる遺伝子が関係している事がわかっていますが、病態に関与する機序は明らかではありません。HLAには多くの型があり（多型）、その分布は民族により異なっています。今回の研究は、前年度に引き続きHLAの型を疫学的に明らかにし、病態形成における役割を計算化学的、免疫学的に検討する研究です。その研究方法は、食物アレルギーの研究や、薬剤の開発にも役立つ可能性があると考えています。

○HLA-ペプチド親和性の網羅的計算法の開発とベーチェット病の病因解明への応用
基盤研究（C）（一般）研究分担者：竹内　二士夫教授（代表：石川　岳志長崎大学准教授）

組織適合抗原（HLA）は、ベーチェット病の遺伝要因の一つとして考えられていますが、HLAが病態に関与する機序は明らかではありません。HLAはペプチド（短いタンパク）をリンパ球に提示する事で、体内の免疫反応と深くかかわっています。疾病に関連するHLAがどのようなペプチドを特異的に提示するのかを調べる事は、病態形成の研究に役立つと考えられます。このHLAとペプチドの反応を計算化学的に推定する事は非常に時間のかかる作業です。本年度は石川が独自に開発したHLAとペプチドとの反応を計算化学的にスクリーニングする方法を用いて、ベーチェット病におけるHLAの役割や、病因ペプチドを検討するものです。

○臨床応用を目指した骨組織における神経－血管機能の解明
基盤研究（C）（一般）研究代表者：福田　亨准教授

骨粗鬆症をはじめとする骨関連疾患を克服するため、医療要用につながる骨代謝調節の分子機構の解明を目的として研究を行っています。我々はこれまでに骨内の感覚神経が骨量維持に重要であることを見出しました。そこで本研究では、神経による骨代謝調節の分子メカニズムの解明を試みています。これまでに神経に関連する細胞で、特定の分子を機能欠損させると骨量が変化することを見出しています。なお、今後は関連分子の機能解明を行い、複雑かつ巧妙な調節機構の一端の解明を目指しています。

○「エネルギー代謝と生体リズムに影響を与える脂肪酸の解明」
若手研究（B）研究代表者：矢島　克彦助教

栄養学領域からのアプローチによって睡眠を含む生体リズムの制御、そして健康増進に貢献する知見を得ることが本研究の目的です。我々は、動物のサーカディアンリズムの調節には食事の中でも、摂取する脂肪酸の“質”が関与すると仮説を立てています。仮設実証のため、ヒトを対象とし脂肪酸組成を変化させた食事摂取後のエネルギー代謝、睡眠時脳波、時計遺伝子発現および深部体温を全て同一の実験で評価する、国内・外で初の研究を試みます。摂取する脂肪酸の組成は、長鎖飽和脂肪酸と長鎖一価不飽和脂肪酸との比較から開始し中鎖脂肪酸、長鎖多価不飽和脂肪酸を含めた検討へと進展させていく予定です。生体リズムの乱れは睡眠の質悪化に繋がり様々な疾患を起こす要因となるため、本研究によって生活習慣病のリスク低減に有効な脂肪摂取のエビデンスを確立したいと考えています。

平成29年度　特別研究・共同研究

本学教育研究費取扱要項第２項及び第３項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしています。本年度の特別研究・共同研究計画申請について、以下の表の通り採用決定しました。

平成29年度　特別研究・共同研究計画申請者一覧

代表申請者	研究別	研究課題
鈴木　三枝教授	共同	幼児期の食生活習慣について
小林　陽子准教授	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区
風見　公子准教授	共同	行動抑制の必要な課題を用いた条件付けによる食物摂取量の変化－通常の食事の場合－
福田　　亨准教授	特別	神経系による骨代謝調節機構におけるグリア細胞の役割の解明
大塚　静子准教授	共同	ラットにおける腎臓石灰化に及ぼす環境因子と遺伝子因子の究明
吉田　光一准教授	共同	ダリア塊根の機能性に関する研究（３）
片山　佳子講師	共同	落花生薄皮の抗がん作用
矢島　克彦助教	共同	栄養素代謝と睡眠時脳波を含む生体リズムに関する研究 （飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の介入研究）
大内　和美助教	特別	中温加熱処理による植物性食品の品質変化 －中温過熱処理によるキノコ類の５´・ヌクレオチドと遊離アミノ酸生成量の変化－
山本　直子助教	共同	野菜の麹漬けに関する研究
吉田真知子助教	共同	幼児を持つ保護者の食教育におけるグループ体験学習が行動変容に与える影響
海老澤隆史助教	特別	自然界からの酵母の単離と高浸透圧耐性および発酵特性について

平成28年度　特別研究・共同研究発表会

平成29年７月１日（土）に平成28年度特別研究・共同研究発表会を開催しました。吉田真知子助教等の教員による特別研究「幼児を持つ保護者の食教育におけるグループ体験学習が行動変容に与える影響」、鈴木等准教授等による共同研究「ダリア塊根の機能性に関する研究（２）」を始めとした計８題の口頭発表がなされ、質疑応答も活発に行なわれました。

平成28年度　特別研究・共同研究計画申請者一覧

代表申請者	研究別	研究課題
橋場　直彦教授	共同	青年期女子における BMI、体脂肪率、腹囲に及ぼす運動習慣、食習慣および肥満･糖尿病･高血圧の家族歴の影響（第５報）
荒木　裕子教授	共同	発酵ソーセージ・ネームの研究（３）
鈴木　三枝教授	特別	「幼稚園児の食育事業」について
新村眞由美准教授	共同	食育サポーター事業 in 葛飾区
片山　佳子講師	特別	落花生を用いた新規味噌の開発
吉田　光一講師	共同	ダリア塊根の機能性に関する研究（２）
大内　和美助教	特別	中温加熱処理による植物性食品の品質変化 －中温加熱処理によるキノコ類の５´－ヌクレオチドと遊離アミノ酸生成量の変化－
矢島　克彦助教	特別	栄養素代謝と睡眠時脳波の関連に関する研究 （飽和脂肪酸、または一価不飽和脂肪酸の介入研究）
吉田真知子助手	特別	幼児を持つ保護者の食教育におけるグループ体験学習が行動変容に与える影響

※申請者の肩書きは申請時のもの

管理栄養学科の活動

平成29年度新入生宿泊研修

新入生84名を迎え入れ、平成29年４月３日（月）～４日（火）の２日間、東京スポーツ文化館にて、グループワークやレクリエーションを通じて、仲間づくりをしながら管理栄養士の資格や国家試験対策の重要性等について理解を深めました。

臨地実習報告会（病院・福祉施設）

平成29年６月24日（土）に、臨地実習（病院・福祉施設）の報告会が開催されました。

４年次生が病院や福祉施設での実習内容や得られた成果等について報告を行い、３年次生・教職員と情報共有をしました。

附属わたなべ幼稚園での食育活動

幼稚園の先生方と公衆栄養学研究室、給食経営管理第２研究室の教員と所属学生が、協働して、年長組対象に食育を行いました。６月６日（火）に園児一人ずつが豆苗の種を水耕栽培で植え、６月23日（金）に育った苗を刈り取り、包丁で切り、当日の給食の焼きそばに入れました。学生は当日の給食のメニュー、保護者向けのリーフレット、３色食品群について、一生懸命作成し、食育活動を行いました。

研究室紹介

給食経営管理第１研究室（植松節子准教授・吉田真知子助教）

平成29年６月18日（日）葛飾区中央図書館にて食育月間に合わせ「食育読み聞かせ会」を給食経営管理第１研究室の教員・学生10名が行いました。本学と葛飾区との包括連携協定を踏まえ、地域の子供たちを対象に食育の一環として、≪野菜をたくさん食べましょう≫をテーマに絵本の力を借りてペープサートやお人形、手遊びなどを披露して子供達との交流を深めました。

栄養教育第２研究室（小林陽子准教授）

「地域とつながったゼミ活動を大切に」を目指してます。

栄養教育第２研究室は、世田谷区防災NPOアクション主催「防災イベント」に参加し、炊き出し訓練活動や他大学の学生と交流しながら、紙で作る器づくり等、地域に出向いた活動を行いました。現在は、10月に予定されている、かつしか健康食育フェア2017の出展内容を臨床栄養学第２研究室ゼミ生と企画準備中です。国試合格に向けての勉強を行いながら、地域とつながった活動を重視しています。

紙で作る器づくり

かつしか健康食育フェア2017の企画中

世田谷区防災イベント

食品学科の活動

平成29年度新入生宿泊研修

新入生77名を迎え入れ、平成29年４月３日（月）～４日（火）の２日間、新入生宿泊研修が栃木県日光市にて実施され、太子食品工業や日光おかき工房の見学を行いました。

調理師専門学校（調理技術研修生）

５期生から創設された調理技術研修生制度では計40名が研修を終了し、現在は11期生（３年次生）10名が附属調理師専門学校で学んでいます。

研究室紹介

食品開発研究室（塩谷敏明教授）

食品のおいしさは、色・味・香り・温度・テクスチャーで決まるといわれています。テクスチャーとは食品の物理的性質に由来する口腔内の感覚で、「口あたり」「舌ざわり」などを表す言葉として用いられています。食品開発研究室では、食品の加工処理がテクスチャーや美味しさに及ぼす影響、さらには新食感の創造と機器による客観的評価方法の開発を中心課題にしています。科学と技術の両面で力を発揮できる人材の育成を目指しています。

食品学第１研究室（筒井知己教授）

食品学第１研究室の構成員は、教員２名（筒井教授、大内助教）、４年次生11名、３年次生７名です。研究室のテーマは、食品素材の機能性研究とその加工食品への利用ですが、卒業生の研究テーマは多様です。例えば、パン同好会でパン作りに活躍していた者が、米粉パンや機能性素材入りパンを研究し、卒論としてまとめ、パン業界で活躍しています。現４年次生も各自の将来を見据えて頑張っています。

学生支援センターの活動

学生支援・就職支援

生活支援・就職支援関係行事一覧

日時	行事
平成28年10月５日	防火・防災訓練
平成28年10月28日 11月４日・18日	３年次生対象就職対策DVD上映会
平成28年10月31日	１年次生対象キャリア支援ガイダンス
平成28年11月２日・７日 16日・21日・30日	食品会社就職の為の筆記試験対策講座
平成28年11月25日	３年次生対象リクルートガイダンス
平成28年11月28日	２年次生対象人生設計とワークライフバランス講座
平成28年12月５日	学生との意見交換会
平成28年12月７日・14日	４年次生による就職活動体験講話
平成28年12月９日	３年次生対象グループディスカッション講座
平成28年12月15日・16日・20日	日本学生支援機構奨学金貸与者対象適格認定説明会
平成29年１月24日	公務員対策論文講座
平成29年２月16日・17日	管理栄養士関係企業学内業界説明会
平成29年２月22日・23日	食品関係企業学内業界説明会
平成29年２月24日	PROG（アセスメントテスト）体験会
平成29年４月６日	日本学生支援機構奨学金高校時予約採用者説明会
平成29年４月11日	４年次生対象PROG（アセスメントテスト）
平成29年４月14日	３年次生対象エントリーシート対策講座
平成29年４月18日	食品衛生監視員希望者ガイダンス
平成29年４月20日	日本学生支援機構奨学金在学採用希望者説明会
平成29年４月24日・28日	１年次生対象PROG（アセスメントテスト）
平成29年５月９日・10日	３年次生対象就職模試「START」
平成29年５月11日	４年次生対象食品関係企業学内業界説明会
平成29年５月12日	４年次生対象管理栄養士関係企業学内業界説明会
平成29年５月16・17日	３年次生対象就職模試「キャリアアプローチ」
平成29年５月25日	学内奨学生授与式
平成29年５月29日	１年次生対象PROG（アセスメントテスト）解説ガイダンス
平成29年６月12日 ７月３日	日本学生支援機構奨学金返還説明会
平成29年６月19日	３年次生対象　「就職模試解説ガイダンス」
平成29年６月28日	大学院進学希望者ガイダンス
平成29年６月29日	１年次生対象　「マナー講座」
平成29年７月３日	直営給食施設希望者ガイダンス
平成29年７月６日	３年次生対象　「就職活動マナー講座」
平成29年７月６日・10日・12日・13日・18日	１～４年次生対象学生支援センター夏期ガイダンス
平成29年７月18日	１～３年次生対象公務員教養試験解説ガイダンス

防火・防災訓練

グループディスカッション講座

学内業界説明会

マナー講座

地域共創・食育イベント

(一社)全国栄養士養成施設協会後援事業

平成28年度（一社）全国栄養士養成施設協会後援事業として「大丈夫ですか？防災に備えた非常食の準備」と題して実施しました。地域の高齢者を対象にして非常食の準備や防災グッズ、災害時の摂るべき栄養等について学生が説明を行いました。

(公社)日本フードスペシャリスト協会共催事業

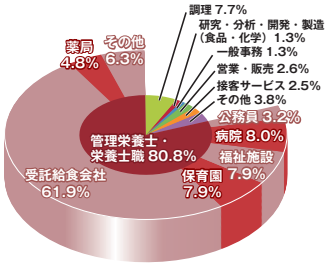
平成28年度（公社）日本フードスペシャリスト協会共催事業として「見直そう東京食材・東京の食文化」と題して実施しました。「東京都食育フェア」及び『聖栄葛飾祭』においてパネル展示などを行いました。

かつしかスポーツフェスティバル2016への出展

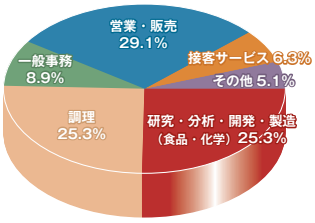
葛飾区との「包括連携協定」に基づき、葛飾区最大のスポーツイベント「かつしかスポーツフェスティバル2016」に模擬店出店協力（カレーライス・ハヤシライス・豚汁）いたしました。附属調理師専門学校の全面協力のもとイベントの盛り上げに協力しました。

第９期生（平成29年３月卒業生）の就職状況（就職率98.1％）

●管理栄養学科（就職率100.0％）



●食品学科（就職率96.3％）



職種別就職先グラフ

平成29年３月卒業生就職結果

第９期生（平成29年３月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、学部合計で98.1％でした。これは文部科学省集計の全国の大学卒業生の就職率97.7％を上回り、開学以来最高値の結果でした。学科別には、管理栄養学科が100.0％、食品学科が96.3％でした。また、実質就職率【就職者/（卒業者－大学院進学者）】を見ると、95.2％であり、就職希望者比の就職内定率とともに開学以来最高の結果となりました。

本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っています。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しています。

進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	78	79	157
就職未内定者	1	4	5
＜就職希望者＞	＜78＞	＜82＞	＜160＞
進学者	0	0	2
その他	0	0	8
卒業者	79	86	165

平成30年３月卒業生就職内定状況

㈱リクルートキャリア等の就職情報会社によると、今年度の大卒求人倍率は1.78倍と昨年（1.74倍）とほぼ同水準の数字が発表されています。昨年度から企業の採用選考活動が８月開始から６月開始に変更され、就職活動の短期集中化が懸念されていましたが、本学の４年次生の就職内定状況（９月15日現在）は、学部合計で78.8％と昨年度比プラス3.8ポイントでした。学科別には、管理栄養学科が85.5％で、食品学科が71.4％という状況です。

しかしまだ内定を得ていない学生も多数いるため、本学では今後も全力で就職支援を継続する。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

主な就職・進学先

【就職】

＜管理栄養士・栄養士職＞

（公務員）足立区栄養士（非常勤）、練馬区栄養士（非常勤）

（病院）嬉泉病院、衣笠病院、小張総合病院、聖隷佐倉市民病院

（福祉施設）老健ダンディライオン、老健リハビリケアかつしか

（保育園）ハレルヤ保育園

（給食会社）エームサービス㈱、シダックス㈱、西洋フード・コンパスグループ㈱、日清医療食品㈱、富士産業㈱

＜研究・分析・開発・製造（食品・化学）＞

伊藤製パン㈱、イニシオフーズ㈱、三協食品工業㈱、トオカツフーズ㈱、㈱ゴリップ、プライムデリカ㈱、山崎製パン㈱、ヤマザキビスケット㈱

＜調理＞

㈱ゴリップ、チムニー㈱、東京天竜㈱、㈱トラジ、㈱ブロンコビリー、㈱メルヘン、日本レストランシステムズ㈱

＜一般事務＞

関東サービス㈱、タイヘイ㈱、公益社団法人　日本食品衛生協会、不二精機㈱

＜営業・販売＞

一冨士フードサービス㈱、㈱オオゼキ、カネ美食品㈱、ゴディバジャパン㈱、㈱ジャパンビバレッジホールディングス、富士山の銘水㈱、㈱マルエツ、㈱ユニマットライフ、㈱ワイズマート

＜接客サービス＞

㈱甲羅、山万ウィシュトンホテル㈱

公開講座

平成29年度は、「シニアのための健康栄養講座（矢島克彦助教）」、「キッチンハーブ講座（荒木裕子教授）」を実施し、好評を博しました。10月には藤島廣二客員教授による「フードマーケティング講座」を、12月には附属専門学校の野口栄教員による「調理実習講座（お正月の卵料理）」を実施予定です。

キッチンハーブ講座

地域共創・食育イベント行事一覧

日時	行事
平成28年10月10日	かつしかスポーツフェスティバル2016
平成28年10月12日	地域美化プランター秋花苗植付
平成28年10月15日	新小岩駅東北ひろばまつり2016
平成28年11月６日	かつしか健康食育フェア2016
平成28年11月12日～13日	『聖栄葛飾祭』（一社）全国栄養士養成施設協会後援事業
平成28年11月12日～13日	『聖栄葛飾祭』（公社）日本フードスペシャリスト協会共催事業
平成28年11月19日～20日	かつしかフードフェスタ2016
平成28年12月７日	新小岩第六自治会との意見交換会
平成28年12月８日	東柴又小学校味噌作り
平成28年２月２日・７日	東柴又小学校豆腐作り
平成29年３月12日	第３回かつしかふれあいRUNフェスタ2017
平成29年５月21日	第41回わんぱく相撲葛飾区大会
平成29年６月５日	全国春の交通安全授与式
平成29年６月10日	公開講座（シニアのための健康栄養講座・管理栄養学科　助教　矢島克彦）
平成29年６月17日	公開講座（キッチンハーブ講座・食品学科　教授　荒木裕子）
平成29年６月18日	食育読み聞かせ会
平成29年８月26日	新小岩駅北口「音楽会と夏の夜店祭」

学友会活動

会長挨拶

学友会会長　管理栄養学科３年
久次　優稀

今年度、学友会会長に就任しました管理栄養学科３年の久次優稀です。

今年も例年通り、学友会総会、新入生歓迎会、体育祭を無事に終えることができました。皆様のご協力ありがとうございました。

11月に行われる『聖栄葛飾祭』では創立70周年を記念し、皆様とよりよいものを作り上げたいと思っております。「食」を通して本学で共に学ぶ同志と地域の方々との繋がりをより深く輝くものにしたいと考えております。

学友会は学生にとって大学生活が素晴らしく充実したものとなるように、これからも日々精進してまいりますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学友会総会、部・同好会説明会

４月10日（月）学友会総会、部・同好会説明会が開催され、総会では新役員の選出、平成28年度決算報告及び平成29年度予算案等が承認されました。部・同好会説明会では、各部から新入生に対して、活動内容のアピールや顧問の先生による説明などがされました。学生団体について理解を深める機会となりました。

新入生歓迎会

４月19日（水）新入生歓迎会が開催され、東京国際大学国際戦略研究所教授岡田仁考氏より「あなたにもできる：多様性の認識と世界の持続可能性への貢献」と題し、大学生には高校生までと違った自己の可能性を実現できる環境があり、大学でどのような自己成長を学ぶ事ができるか講演が行われ、新入生は真剣に聴講していました。

特別講演後には、抽選会が行われ、大いに盛り上がり、新入生には大学生活をより良くスタートする機会となりました。

聖栄葛飾祭

11月11日（土）、12日（日）の両日に『聖栄葛飾祭』（大学祭）が開催されます。今年度のテーマは「食のない人生なんて～ No Food No Life ～」に決定しました。今年度も葛飾区の後援や、地元自治会の協力も得て、地域密着型として開催いたします。多くのお客様のご来場を心よりお待ちしております。

体育祭

６月２日（金）本学船橋グラウンドにおいて体育祭が開催されました。学友会、体育祭実行委員会が中心となり、全プログラムが滞りなく実施されました。総合優勝に輝いたクラスは２NAクラス（２年次生 管理栄養学科クラス）でした。学生間の交流を深め、クラス全体で親交を深める１日となりました。

学生と教職員との意見交換会

12月５日（月）学友会主催で、学長始め教職員と学生が、直接に大学生活全般に関わる内容について幅広く意見や要望を交わし、大学生活のよりよい環境づくりを目的として意見交換会が開催されました。当日は学生39名が参加し、大学生活、授業・履修、就職、図書館、施設・設備、学友会、部・同好会 等について、活発な意見交換が行われました。

平成29年度　部・同好会一覧

部名	学生代表	
食品加工研究部	2015FA01	新井　正太郎
調理実習部	2015NB04	田崎　千織
硬式テニス部	2015NA20	小川　孝平
合気道部	2015FA30	酒井　渉
バレーボール部	2015NB30	増井　拓人
バスケットボール部	2015FA15	岡田　涼
バドミントン部	2015NA17	岡田　光也
軽音楽部	2016NA54	竹内　寛太郎
パン部	2015FA21	木下　蘭琳
サッカー部	2016NB35	堀　匠

同好会名	学生代表	
ダンス同好会	2015FB31	持田　りさ子
あぐり	2017FB37	山本　雛代
ソフトテニス同好会	2016FA43	塩谷　怜音
フットサル同好会	2015FA27	小林　壮
野球同好会	2015FB17	長尾　航希
聖栄ビアヘルピングワークス	2015NB41	山田　拓之
吹奏楽同好会	2016NB25	秦野　真希
創作製菓同好会	2015FA14	岡田　春菜
ボランティアの会	2016NA46	小菅　希

サークル名	学生代表	
カヌーサークル	2017NA01	阿久根　萌香

後援会の活動

後援会会長
加藤　友作

平成29年４月１日（土）入学式終了後の後援会総会において、平成28年度の事業報告及び決算報告、平成29年度の事業計画、予算案、役員改選等について御承認いただき、本年度の後援会活動がスタートいたしました。後援会が円滑で効果的に活動できるのも、教職員の皆様の御尽力、そして会員の皆様の御支援によるものであり、ここに深く感謝申し上げます。

さて、後援会では、毎秋に開催しております保護者と教職員との懇談会を始め、年２回の後援会会報の発行、大学諸行事関係や就職対策支援、学友会などの学生諸活動支援、掲示板等の備品や図書購入といった教育助成を行っております。今後も、学生の皆さんの学習環境の整備や、教職員の皆様の教育活動の充実、大学の発展・向上に少しでも応えられるよう、後援会活動を推し進めて参りたいと存じます。皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

後援会の主な活動

平成29年度

○保護者懇談会開催　10月７日（土）
　保護者と教職員の情報交換会
○後援会会報の発行（年２回発行予定）
　10月１日付
　３月15日付
○会議の開催
　定 期 総 会　　４月１日（土）
　役　員　会　　６月３日（土）
　　３月上旬予定

聖栄会の活動

聖栄会会長
髙橋　興亜

平成29年６月４日（日）東京聖栄大学におきまして聖栄会総会を開催いたしました。総会議事に先立ち、学校法人東京聖栄大学創立70周年記念式典に参加並びに新学長の田所忠弘先生に名誉会長を、前学長の松本信二先生に名誉顧問をお願いしましたことを報告し、議事に入りました。議事一切と新役員が全会一致で承認されました。

本年度は会の活性化を図るため、現役で活躍している方を役員に迎え、活力ある運営をしてまいりたいと思います。教職員の皆様、会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

聖栄会の主な活動

平成29年度

４月　「聖栄会だより」の発行
６月　体育祭の協賛
　　定期総会並びに懇親会開催
10月　食文化研究会の開催
11月　大学祭への参加
３月　卒業生に記念品の贈呈

人事異動（順不同　敬称略）

■昇　任　平成29年７月１日付

大学事務部
　事務部次長　　横塚　友子（学務課長兼務）
　学務課係長（心得）　金丸　亜樹（主任）
　入試・広報課係長（心得）　山口　智史（主任）

法人事務局
　施設管理課係長　　會田　　進（主任）
　総務課主任　　伊藤　　崇
　財務課兼施設管理課主任　　三枝　綾子

大学教員　平成29年10月１日付
　教　授（管理栄養学科）　　宮内　眞弓（准教授）

■採　用　平成29年10月１日付

大学教員
　講　師　膳法　浩史
　　平成24年３月博士（スポーツ医学）（筑波大学）
　前職：日本学術振興会特別研究員（PD）
　研究分野：スポーツ科学、応用健康科学、
　　基礎医学

■新　任　平成29年７月１日付

大学事務部
　学生支援センター
　学生支援・就職支援課長　　鈴木　　等
　（食品学科准教授 兼務）

■兼務発令　平成29年７月１日付

法人事務局
　総務課係長兼務　　梅村　光代（秘書室 係長）
　施設管理課主任兼務　　飯田　真由美（総務課 主任）

■退　職　平成29年７月１日付

法人事務局
　事務局次長兼総務部長　赤堀　五百重

■採　用　平成29年６月１日付

（臨時事務系職員）
大学事務部
　学生支援センター
　学生支援・就職支援課　キャリアコンサルタント
　（キャリア支援専門員）　　森田　悦子
　　（法人事務系職員（専任）：平成29年５月31日付退職）

■委　嘱　平成29年７月１日付

　地域連携センター長　　丸井　正樹
　地域連携センター次長　　金子　俊也
　衛生管理者　　高橋　成彰（平成29年８月１日付）

平成28年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

本学の平成28年度末における財務の概況は、次のとおりです。

収入は、主な財源の学生生徒等納付金収入が、入学定員の確保により安定しており、経営努力による収入も増加しています。一方、支出は、人件費をはじめ、支出抑制による収支均衡を目標に財政健全化に努めており、28年度決算では、基本金組入前当年度収支差額（旧：帰属収支差額）は、8,000万円の収入超過（黒字）となり、６期連続で収入超過の実績を収めることができました。

１．資金収支計算書

平成28年度の資金収支決算規模は、37億1,700万円となり、前年度比２億6,900万円増加しました。前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は23億800万円で、支出額は23億1,300万円となり、500万円の支出超過となりました。

この結果、翌年度繰越支払資金は、前年度比500万円減の14億400万円となりました。

資金収支計算書（平成28年４月１日から平成29年３月31日まで）　（単位　千円）

	科目	予算	決算	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,106,721	1,114,035	△7,314
	手数料収入	22,800	20,280	2,520
	寄付金収入	17,000	16,196	804
	補助金収入	149,268	149,268	0
	国庫補助金収入	94,468	94,468	0
	都県補助金収入	53,385	53,385	0
	区市補助金収入	1,415	1,415	0
	資産売却収入	500,000	500,000	0
	付随事業・収益事業収入	13,770	14,499	△729
	受取利息・配当金収入	31,000	55,053	△24,053
	雑収入	14,136	15,370	△1,234
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	525,075	509,242	15,833
	その他の収入	445,314	446,135	△821
	資金収入調整勘定	△529,684	△532,438	2,754
	前年度繰越支払資金	1,409,079	1,409,079	
	収入の部合計	3,704,479	3,716,719	△12,240
	科目	**予算**	**決算**	**差異**
支出の部	人件費支出	710,510	723,559	△13,049
	教育研究経費支出	279,213	265,809	13,404
	管理経費支出	100,233	105,398	△5,165
	借入金等利息支出	1,980	1,980	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	85,252	78,362	6,890
	設備関係支出	102,498	91,850	10,648
	資産運用支出	1,030,000	1,031,345	△1,345
	その他の支出	24,450	24,578	△128
	〔予備費〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△21,629	△22,510	881
	翌年度繰越支払資金	1,369,752	1,404,128	△34,376
	支出の部合計	3,704,479	3,716,719	△12,240

２．事業活動収支計算書（旧：消費収支計算書）

事業活動収入は13億8,700万円で、建物、機器備品などの減価償却額が含まれる事業活動支出は13億800万円であり、基本金組入額（１億4,600万円）を控除した当年度収支差額は6,700万円の支出超過となりました。（基本金組入後収支比率105.3％）前年度からの繰越収支差額は３億9,200万円の支出超過でしたので、翌年度繰越収支差額は４億1,700万円とやや支出超過額が増加しました。

事業活動収支計算書（平成28年４月１日から平成29年３月31日まで）（単位　千円）

	科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	1,106,721	1,114,035	△7,314
	手数料	22,800	20,280	2,520
	寄付金	7,400	6,374	1,026
	経常費等補助金	141,674	141,674	0
	国庫補助金	86,874	86,874	0
	都県補助金	53,385	53,385	0
	区市補助金	1,415	1,415	0
	付随事業収入	10,770	11,814	△1,044
	雑収入	14,136	15,371	△1,235
	教育活動収入計	1,303,501	1,309,548	△6,047
	事業活動支出の部			
	人件費	724,724	724,760	△36
	教育研究経費	484,270	464,868	19,402
	管理経費	108,997	115,042	△6,045
	徴収不能額等	0	667	△667
	教育活動支出計	1,317,991	1,305,337	12,654
	教育活動収支差額	△14,490	4,211	△18,701
	科目	**予算**	**決算**	**差異**
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	31,000	55,053	△24,053
	その他の教育活動外収入	3,000	2,700	300
	教育活動外収入計	34,000	57,753	△23,753
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	1,980	1,980	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	1,980	1,980	0
	教育活動外収支差額	32,020	55,773	△23,753
	経常収支差額	17,530	59,984	△42,454
	科目	**予算**	**決算**	**差異**
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	20,634	20,076	558
	特別収入計	20,634	20,076	558
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	1,300	455	845
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	1,300	455	845
	特別収支差額	19,334	19,621	△287
	予備費	6,000	0	6,000
	基本金組入前当年度収支差額	30,864	79,605	△48,741
	基本金組入額合計	△138,508	△145,910	7,402
	当年度収支差額	△107,644	△66,305	△41,339
	前年度繰越収支差額	△392,247	△392,247	0
	基本金取崩額	0	42,000	△42,000
	翌年度繰越収支差額	△499,891	△416,552	△83,339

3．貸借対照表

28年度末の資産総額は5,600万円増の99億円です。固定資産は7,400万円増の84億8,100万円になり、流動資産は1,900万円減の14億1,800万円となりました。

負債総額は借入金返済などで2,400万円減少し、９億9,200万円となりました。

純資産は8,000万円増の89億700万円となり、財政としては良好な状況です。

貸借対照表（平成29年３月31日）　（単位　千円）

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,481,196	8,406,844	74,352
有形固定資産	5,704,406	5,740,691	△36,285
土地	1,889,400	1,889,400	0
建物	3,320,761	3,398,204	△77,443
その他の有形固定資産	494,245	453,087	41,158
特定資産	436,538	417,906	18,632
その他の固定資産	2,340,252	2,248,247	92,005
流動資産	1,418,314	1,436,891	△18,577
現金預金	1,404,128	1,409,079	△4,951
その他の流動資産	14,186	27,812	△13,626
資産の部合計	9,899,510	9,843,735	55,775

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	391,732	402,751	△11,019
長期借入金	85,540	97,760	△12,220
その他の固定負債	306,192	304,991	1,201
流動負債	600,509	613,320	△12,811
短期借入金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	588,289	601,100	△12,811
負債の部合計	992,241	1,016,071	△23,830
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	9,323,822	9,219,911	103,911
第１号基本金	9,235,822	9,089,911	145,911
第４号基本金	88,000	130,000	△42,000
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	△416,553	△392,247	△24,306
純資産の部合計	8,907,269	8,827,664	79,605
負債及び純資産の部合計	9,899,510	9,843,735	55,775

4．財産目録

資産総額99億700万円の内訳は、基本財産57億6,500万円（58.2％）、運用財産37億9,400万円（38.3％）、収益事業用財産３億4,800万円（3.5％）となっており、また、負債総額９億9,900万円の内訳は、固定負債３億9,200万円、流動負債６億円、収益事業用負債640万円となっています。資産総額から負債総額を差引いた正味財産は89億900万円で、前年度比8,000万円増となりました。

財産目録　28年度（総括表）（平成29年３月31日現在）　（単位　千円）

Ⅰ資産総額	9,907,380
内 基本財産	5,765,166
運用財産	3,793,936
収益事業財産	348,278
Ⅱ負債総額	998,677
Ⅲ正味財産	8,908,703

区分	金額	
資産額		
１．基本財産	5,765,166	
有形固定資産	5,704,406	
土地		1,889,400
建物		3,320,761
構築物		59,087
教研機器備品		252,966
管理用機器備品		12,638
図書		167,865
車両		1,689
その他の固定資産	60,760	
借地権		59,900
電話加入権		860
２．運用財産	3,793,936	
現金預金		1,404,128
定期預金		330,000
有価証券		1,600,000
差入保証金		9,084
退職給与引当特定資産		24,460
減価償却引当特定資産		412,078
未収入金		10,418
販売用品		62
前払金		3,192
仮払金		514
３．収益事業用財産	348,278	
土地		185,313
建物		145,825
構築物		288
現金預金		16,830
前払金		22
資産の部合計（A）	9,907,380	

負債額		
１．固定負債	391,732	
長期借入金		85,540
退職給与引当金		306,192
２．流動負債	600,510	
短期借入金		12,220
未払金		19,582
前受金		509,242
預り金		52,977
研修旅行費預り金		6,489
３．収益事業用負債	6,435	
前受金		1,296
未払法人税		139
預り保証金		5,000
負債の部合計（B）	998,677	

正味財産（A）－（B）	8,908,703

５．５ヵ年連続事業活動収支計算書（旧：消費収支計算書）

平成27年度から学校法人会計基準の改正に伴い平成26年度まで作成していた消費収支計算書は、平成27年度から事業活動収支計算書に替わりました。

平成24年度から26年度までの消費収支計算書、27年度及び28年度の事業活動収支計算書は、別表のとおりです。

３ヵ年連続消費収支計算書（28年度）

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		全国平均
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	医歯系を除く
収入の部	千円	%	千円	%	千円	%	%
学生納付金	1,048,125	75.2	1,122,634	76.8	1,173,056	81.5	69.5
手数料	31,033	2.2	23,097	1.6	22,737	1.6	2.3
寄付金	10,639	0.8	10,820	0.7	10,714	0.7	3.9
補助金	171,929	12.3	157,819	10.8	147,682	10.3	12.2
資産運用	26,977	1.9	36,499	2.5	49,610	3.4	2.5
資産売却差額	228	0.0	11,859	0.8	21	0.0	1.8
事業収入	10,712	0.8	11,829	0.8	18,939	1.3	4.8
雑収入	94,875	6.8	87,869	6.0	16,348	1.1	2.9
帰属収入	1,394,518	100.0	1,462,426	100.0	1,439,107	100.0	100.0
基本金組入額	0	0.0	△119,019	△8.1	△229,631	△16.0	△13.6
消費収入合計	1,394,518	100.0	1,343,407	91.9	1,209,476	84.0	86.4
支出の部							
人件費	795,858	57.1	782,114	53.5	705,740	49.0	50.9
教育研究経費	436,638	31.3	459,266	31.4	491,096	34.1	31.2
（うち減価償却額）	(186,976)	(13.4)	(177,544)	(12.1)	(196,362)	(13.6)	(9.6)
管理経費	103,725	7.4	105,488	7.2	109,686	7.6	9.0
（うち減価償却額）	(10,215)	(0.7)	(9,066)	(0.6)	(9,739)	(0.7)	(1.1)
借入金利息	2,859	0.2	2,640	0.2	2,419	0.2	0.2
資産処分差額	24,574	1.8	13,377	0.9	18,718	1.3	1.5
徴収不能額	3,658	0.3	1,990	0.1	2,220	0.2	0.1
〈予備費〉							
消費支出合計	1,367,312	98.0	1,364,875	93.3	1,329,879	92.4	92.8
当年度消費収支差額	27,206		△21,468		△120,403		
前年度繰越消費収支超過額	△514,588		△318,463		△319,678		
基本金取崩額	168,919		20,253				
翌年度繰越消費収支超過額	△318,463		△319,678		△440,081		
人件費依存率		75.9		69.7		60.2	73.3
人件費比率		57.1		53.5		49.0	50.9
帰属収支差額比率		2.0		6.7		7.6	7.2
消費収支比率		98.0		101.6		110.0	107.5

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）26年度

２ヵ年連続事業活動収支計算書（28年度）

	平成27年度		平成28年度		全国平均
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	医歯系を除く
（教育活動収支・収入の部）	千円	%	千円	%	%
学生納付金	1,117,494	79.8	1,114,035	80.3	71.2
手数料	22,666	1.6	20,280	1.5	2.1
寄付金	3,730	0.3	6,374	0.5	1.3
経常費等補助金	144,752	10.3	141,674	10.2	11.6
付随事業収入	10,605	0.8	11,814	0.9	5.2
雑収入	37,279	2.7	15,371	1.1	3.0
教育活動収入計	1,336,526	95.5	1,309,548	94.4	94.7
（教育活動収支・支出の部）					
人件費	718,956	51.4	724,760	52.2	51.9
教育研究経費	469,796	33.6	464,868	33.5	32.1
管理経費	107,821	7.7	115,042	8.3	8.9
徴収不能額等	4,060	0.3	667	0.0	0.1
教育活動支出計	1,300,633	92.9	1,305,337	94.1	93.0
（教育活動外収支・収入の部）					
受取利息・配当金	53,127	3.8	55,053	4.0	1.8
その他の教育活動外収入	3,200	0.2	2,700	0.2	0.1
教育活動外収入計	56,327	4.0	57,753	4.2	1.9
（教育活動外収支・支出の部）					
借入金等利息	2,199	0.2	1,980	0.1	0.2
その他の教育活動外支出	0	0.0	0	0.0	0.1
教育活動外支出計	2,199	0.2	1,980	0.1	0.3
（特別収支・収入の部）					
資産売却差額	0	0.0	0	0.0	1.1
その他の特別収入	7,117	0.5	20,076	1.4	2.3
特別収入計	7,117	0.5	20,076	1.4	3.4
（特別収支・支出の部）					
資産処分差額	2,065	0.1	455	0.0	1.8
その他の特別支出	0	0.0	0	0.0	0.2
特別支出計	2,065	0.1	455	0.0	2.0
基本金組入前当年度収支差額	95,073	6.8	79,605	5.7	4.7
基本金組入額合計	△47,239	△3.4	△145,910	△10.5	△12.2
当年度収支差額	47,834	3.4	△66,305	△4.8	△7.6
前年度繰越収支差額	△440,081	△31.4	△392,247	△28.3	△66.7
基本金取崩額	0	0.0	42,000	3.0	3.3
翌年度繰越収支差額	△392,247	△28.0	△416,552	△30	△71

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）27年度

東京聖栄大学教育研究施設設備充実の募金について

本学園は、今年学園創立70周年を迎えることとなりました。創立以来、学校教育法及び関連法規の改正、自己点検第三者評価制度など大学改革、教育再生に関する社会の急激な変遷に対応して、着々と大学としての基盤整備確立に努力し、その成果を挙げてまいりました。これも偏に皆様方のご支援ご協力の賜物と感謝いたしております。

さて、本学におきましては、予てから教育研究の環境整備充実を図り、更なる高度化推進を実現するため、「教育研究施設設備充実資金」の寄付募金を行ってきました。寄付募金の重要性に鑑み、平成22年度から財政基盤の強化の一環として、広く内外の学園関係者に呼びかけ、積極的に募金活動を実施いたしており、例年募金にご協力くださいまして誠に有難うございました。

つきましては、現在の厳しい社会・経済情勢のもとでのお願いで誠に恐縮ではございますが、何卒、ご理解を賜り、募金要綱等をご覧いただきまして、寄付募金にご協力くださいますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、この寄付金は、**個人の場合は**特定公益増進法人への寄付金として**所得税法による減免税措置（税額控除）が受けられます。**また、**法人の場合は、**日本私立学校振興・共済事業団の**受配者指定寄付金として、寄付金の全額を損金に算入することができます。**

募金要綱

１．目　　的：教育・研究に要する経常的経費に充当するため
２．募金目標額：１千万円
３．寄 付 金 額：個人　１口　１万円
　　法人　１口　１万円
４．募 金 期 間：平成30年３月末まで
５．申込書、振込方法：本学所定の用紙をご利用ください
◎この寄付金は任意でありますが、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
◎この募金は、個人の場合は所得税法により税額控除が受けられます。法人の場合は受配者指定寄付金として全額損金に算入することができます。詳細については下記にお問い合わせください。

学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係　TEL 03－3692－0211㈹

募金申込状況

平成18年度から28年度までの募金申込状況は下表のとおりです。

この募金は、別口座に積み立てられ募金の趣旨に則り、有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額（円）
平成18年度	37	3,500,000
19年度	33	5,950,000
20年度	28	5,700,000
21年度	18	4,100,000
22年度	53	7,665,000
23年度	50	6,790,000

年度	申込件数	金額（円）
24年度	110	7,910,000
25年度	130	8,395,435
26年度	137	6,855,000
27年度	139	8,280,000
28年度	109	5,935,000
総　　計	844	71,080,435

東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園だより

園長　萩原　和代

わたなべ幼稚園は今年、開園40周年を迎えることが出来ました。

開園当初は近隣の方々から、園児の歌声や、遊ぶ賑やかな声に苦情が多々ありましたが、今では住民の方々も園児の声に華やぎを感じ、「子どもの声はちっとも煩く感じませんよ。」と温かいご理解のお言葉を言って頂くまでになりました。

さらに、園児たちの為の催し物や遊びの提供なども積極的に参加して頂いております。

近隣の方々にも、在園生、卒園生にも愛される幼稚園としてこれからも地域に貢献していきたいと思っております。

40周年記念として園庭に小さな桜の苗木を理事長先生と共に植樹いたしました。

今年の入園式には園庭にある老木の桜が見事に咲き誇り、歳月の重みを感じさせられました。今回植樹した桜の苗木が、老木の桜のように大きく成長し、園児たちに立派な桜の花を見せられるよう大切に育てて行きます。

今年も本学管理栄養学科の学生11名による食育指導がなされました。

園児達に野菜をたくさん食べてほしいというねらいで食育を行い、野菜が育つ様子も観察しようと、年長組で豆苗を育てることにしました。

６月６日に種をまき、毎日水を替えて大事に育てました。11名の学生が３色群の栄養素のパネルを作ってきて、なぜ野菜が必要なのかを園児たちに分かりやすく説明していました。

６月23日にいよいよ収穫です。少し育ちすぎた豆苗を包丁で切る体験をし、その日の給食の献立である焼きそばに加えて食べました。

自分たちで育てた豆苗が入っているので、いつもよりも「おかわりしたよ！」「残さないで食べたよ！」という声が多く寄せられました。

自分たちで育て、収穫をして食べることは、食べ物を大切にする気持ちを育て、残さず食べる事にも繋がって行く事と思います。

東京聖栄大学附属調理師専門学校だより

校長　阿左美 章治

本学園は今年度創立70周年の喜ばしい年を迎えました。そして本校も前身校である聖徳調理師学校から数えて57年の歴史を築いてきました。この間、社会で活躍できる調理師を育成すべく教職員が情熱をもって真剣に取り組み、その結果、昼間生・夜間生合わせておよそ7000名の卒業生、調理師を輩出し、現在多くの先輩達が調理業界で活躍しています。

平成25年以来の東京聖栄大学附属校である本校では現在、昼間部一年制の調理師養成を行っています。また平成23年以来、東京聖栄大学食品学科三年生の希望者を調理技術研修生として一年間受け入れ、調理師免許が取得できるなど大学との教育連携も実施しています。そこで今学報では大学附属校としての特質や調理技術研修生を紹介し、合わせて特別調理講習会や学生募集についてお知らせします。

大学との連携教育のポイントの一つには、大学教員の専門性豊かな講義をつぶさに受講できる利点があげられます。また（食品衛生の）食品添加物や微生物に関する授業・実験などは大学教員の指導のもと大学の実験室で行うなど大学施設・設備の利用は本校生の学習にとって大きなメリットです。特に今年度からは調理師学校生全員に大学図書館利用のライブラリーカードを発行し学業への利便性を高めています。

大学・食品学科からの調理技術研修生は、昨年15名、今年は10名の学生が入学し調理やマネジメントができる食の専門家（食品技術者・学士）を目指し勉強しています。

その学習成果は大学と葛飾区との連携・協力関係での地域貢献活動、地域共創事業の一環として実施される、例えば、公開講座の調理実習講座、わんぱく相撲葛飾区大会、新小岩北口広場「音楽会と夏の夜店祭」、かつしかスポーツフェスティバル2016などでのイベントで調理技術を有した協力学生として活躍しています。

ところで、本校の調理実習は西洋、製菓、日本、中国、集団調理の５ジャンルのトータル学習を目指すものであり一年制調理師養成校の中では秀れたものと自負しています。また外部著名講師および本校卒業生による特別調理講習会も年に２、３回開催され、調理実習を更なる充実したものにしています。この特別調理講習会や入学希望者を対象とした体験入学講習会の調理補助も調理技術研修生によってなされています。食育インストラクターを希望する調理技術研修生には受験資格を与え、昨年度は全員が合格しました。

昨年実施した学校企画として、学生募集では新たなる試みとして「体験入学」を大学とコラボレーションし、同日開催として学校紹介を効果的なものにしました。また卒業子女への入学金の免除を実施しました。卒業生が情報交換を行える場としてさらには学校に立ち寄る機会として聖栄調理祭をホームカミングイベントとして開催しました。学校も10月に入り、学業も進展・充実期を迎えています。後期に予定される聖栄調理祭、技術考査（専門調理師学科試験）、調理技術コンクールなどに楽しく真剣に向き合う学生に大いにエールを送りたいと思います。

大学トピックス

平成29年度 栄養教育実習報告会を開催しました

平成29年７月12日（水）、19日（水）、26日（水）の３日にわたって４号館１階 教職実践演習室において栄養教育実習報告会を行いました。

教職課程第一期生である、栄養教諭を目指す管理栄養学科４年次生が教育実習を終え、それぞれが学んだ事や後輩へのアドバイス等を発表しました。

教育実習を終えた学生からは達成感に満ちた表情が見受けられ、大庫 富男先生（元葛飾区立白鳥小学校長）からの励ましの言葉に、栄養教諭を目指す学生達も思いを新たにしました。

「学生FDサミット2017夏」に参加しました

平成29年８月31日（木）～９月１日（金）に学生FDサミット2017夏が、金沢星稜大学で開催されました。全国の大学生および教職員約240名が集まり、本学から学生２名が参加しました。「みんなで考える理想の授業 温故知新！学生FDの今昔から～」をテーマに、普段活用している用語などの理解や新しい知識を学び、学生が楽しく理解しやすい授業開発を目的に実施しました。

当日は、講演会や他の大学生・教職員共同でワークショップを行い、授業に対する考えについて交流を深める機会となり、学生・教職員が相互理解することができ、とても有意義な研修会となりました。

平成30年度 東京聖栄大学 学生募集要項

東京聖栄大学　健康栄養学部（共学）/管理栄養学科・食品学科（募集定員は両学科とも80名）

入試区分		試験日	選抜方法
AO入試（高大接続型）	Ⅱ期	平成29年10月21日㈯	基礎学力検査・面接・調査書 大学入学希望理由書・模擬授業受講感想文
	Ⅲ期	平成29年12月17日㈰	
指定校制推薦入試		平成29年11月 5日㈰	面接・調査書
公募制推薦入試			適性テスト・面接・調査書 ※卒業生子女等のみ志望理由書も必要
公募制特別推薦入試			
卒業生子女等推薦入試			
12月特別選抜入試		平成29年12月17日㈰	基礎学力検査・面接・調査書
キャリア特別入試	Ⅰ期	平成29年12月17日㈰	学力検査・小論文・面接・経歴書・調査書

※公募制特別推薦入試は、専門学科・総合学科卒業（見込）生選抜入試です。
※各入試の詳細は本学ホームページ又は「平成30年度学生募集要項」で確認してください。

入試区分		試験日	選抜方法
一般入試	Ⅰ期A	平成30年１月24日㈬	学力試験
	Ⅰ期B	平成30年１月26日㈮	
	Ⅱ期	平成30年２月12日㈪	
	Ⅲ期	平成30年２月25日㈰	
大学入試センター試験利用入試	Ⅰ期	平成30年１月13日㈯ １月14日㈰	平成30年度 大学入試センター試験成績
	Ⅱ期		
	Ⅲ期		
3月入試（一般入試）		平成30年３月 ９日㈮	基礎学力検査・記述式問題・面接・調査書 大学入学希望理由書
キャリア特別入試	Ⅱ期	平成30年２月12日㈪	学力検査・小論文・面接・経歴書・調査書

受験相談会　**10/14㈯**　**12/2㈯**

※11月11日（土）、12日（日）は『聖栄葛飾祭』（大学祭）にて受験相談コーナーを開設します。

■**開催時間**：各回とも13：00～16：00要予約　■**当日の内容**：平成30年度入試の概要説明、個別相談、施設見学　他

＜お問い合わせ先＞　入試・広報課　TEL：03-3692-0238（直通）　E-mail nyushi@tsc-05.ac.jp

発行　東京聖栄大学　〒124-8530　東京都葛飾区西新小岩 １－４－６
TEL：03-3692-0211（代）　URL http://www.tsc-05.ac.jp/